

# 人獣共通感染症について

## 人獣共通感染症とは

犬や猫の病気の中には、人間にもかかる病気があります。狂犬病やトキソプラズマ症が代表的なものですが、他にも回虫症等いろいろあります。しかし、「病気になるからペットは飼わない、動物には触らない」と、むやみに恐れる必要はありません。人獣共通感染症についての知識をより深めて、動物との生活を健康で楽しいものにしていきましょう。



©フリーメディカルイラスト図鑑

予防には、人も動物も体調管理をしっかり行い生活環境を清潔にすることはもちろん、お互い過剰な接触をしないことが大切です。かわいがることと四六時中べったりかまうこととは違います。節度を持って接しましょう。

## どんな病気があるの？

疾病名	動物の症状	人への感染方法	人での症状
狂犬病	狂騒または麻痺、死亡	咬み傷	神経症状、死亡
レプトスピラ症	腎炎、血尿、黄疸	尿に接触	血尿、腎炎など
パスツレラ症	無症状	咬み傷、引っかき傷	化膿など
猫ひっかき病	無症状	咬み傷、引っかき傷	リンパ節腫脹など

詳しくは、国立感染症研究所 感染症情報センターのホームページをご覧ください。

## 動物に接するときの注意

他の動物との接触に注意し、野鳥、他の犬や猫、ネズミ等の侵入をできるだけ防ぎましょう。また、衛生害虫（ハエ、ゴキブリ、ノミ、ダニ、蚊等）の駆除にも努めましょう。

動物を触る前、触った後、フンの始末等の世話をした後等には、必ず手を洗いましょう。



©フリーメディカルイラスト図鑑



©フリーメディカルイラスト図鑑

### してはいけないこと

- × 動物にキスをしたり、過剰な口なめをさせる
- × 動物に食べ物を自分のはしで食べさせたり、口移しで与える
- × 動物と人の食器を一緒に洗う
- × 動物と同じふとんで寝たり、一緒にお風呂に入る など